町報
きょなん

発行　鋸南町役場
編集　総務企画課　第４６２号
２９９－２１９２
千葉県安房郡鋸南町下佐久間３４５８
電話　０４７０－５５－２１１１（代）
毎月　１回

1
2007

謹賀新年



勝山小学校マラソン大会

１１月３０日（木）勝山小学校でマラソン大会が開催されました。当日は好天に恵まれ、児童達は各学年に合わせたコースを駆け抜けました。沿道にはＰＴＡの方もコース案内等の手伝いで参加し、児童達に声援を送っていました。

めでとうございます。

『希望と活気ある町づくり』



町　長
白　石　治　和

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、健やかに初春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

本年は、懸案事項でありました勝山小学校校舎の建設に向け、大きく動きます。平成１９年度早々に着工し、平成２０年４月には新しい校舎で授業が開始できるよう、現在準備を進めております。

町全体の児童数は年々減少を続け学級の少人数化及び複式学級の解消が課題となっているため、学校施設のあり方について、特に、今後の児童数の推移等を中心に検討を重ねてまいりました。その結果、複式学級の解消とともに、多くの集団の中で、切磋琢磨していくことや人間関係の広がり等、教育的なメリットを期待して、平成２０年４月に勝山、佐久間両小学校の統合を目指すとの結論に達し、関係機関等と協議中であります。更に勝山、佐久間両幼稚園の統合についても、現在進めているところであります。

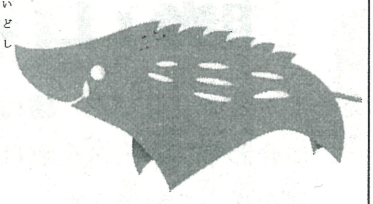
さて、ここ数年、社会を取り巻く情勢は大きく変化してまいりました。鋸南町としても様々な課題を抱えておりますが、近隣の自治体と協調しつつ、町民と行政がそれぞれの役割を担い、ともに連携してまちづくりを行う、協働・相互扶助的な考え方が求められてきております。

そこで、当町の基幹産業である農業・漁業と観光あるいは商工がタイアップし、新鮮な農・水産物による食のまちづくりや農山漁村に滞在し、その体験や交流といったグリーンブルーツーリズム・エコガーデン構想（まちぐるみ公園化）等も町活性化に重要であると考えております。

また、自然環境に恵まれ、歴史ある私たちのまちを、さらに未来に向けて発展させ「誰もが暮らしやすいまちづくり」を目指して参りたいと思います。

町民の皆様には、町政へのさらなるご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の、ますますのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

今年は亥年

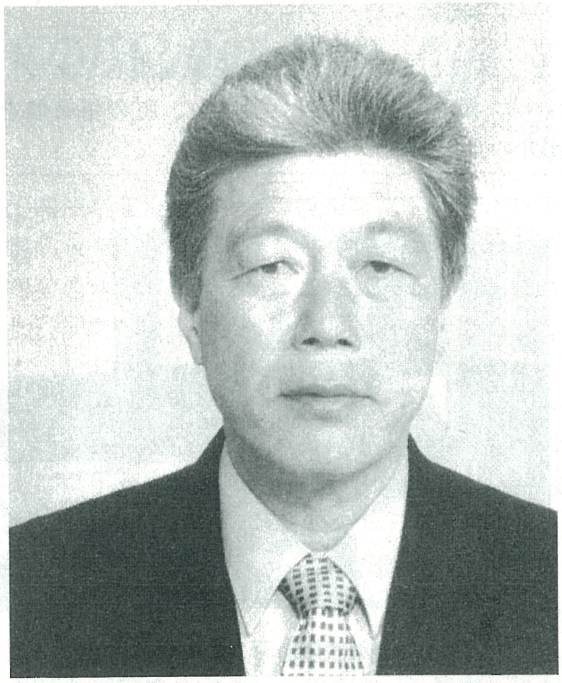


今年は亥年（いどし）―十二支の最後の干支です。十二の方角を示す十二支それぞれに動物をあてたのは中国ですから、中国でも当然同じ亥年です。しかし、おもしろいことに、中国ではカレンダーなどにかかれる絵は、イノシシではなくブタの絵を見かけます。イノシシはブタの先祖ですから、同じようなことなのでしょうか。

さて、イノシシは、日本では北海道、東北、北陸の一部を除いた広い範囲に分布しています。奄美大島や沖縄などには、琉球イノシシと呼ばれている小型のものが生息しています。

猪首（いくび）という言葉があるように、イノシシは首が短い独特の体形をしています。口吻（口先、口元）が長く、その先に円盤状の鼻鏡（びきょう）があります。首から背にかけての剛毛は怒ると

新年あけましてお



議会議長
平島孝一郎

『住民と共に歩む合議体としての議会』

あけまして、おめでとうございます。

町民各位には、お揃いで、希望に満ちた平成１９年を迎えられたことを鋸南町議会を代表してお喜び申し上げます。

鋸南町議会は、昨年６月に本年４月に行なわれる一般選挙から議員定数を１６人から１２人にすることを議決しました。

議会は、その機能を十分に発揮するには最低限何人必要かということを視点に、現在町の置かれている厳しい実情に応じ、議員定数削減は避けて通れないことを認識し、鋸南町にふさわしい定数は１２人であると決定したものです。

議員定数は、まさに組織、根幹をなす重要な要素です。今後とも、地域のことは地域で意思決定しなければならない分権時代の要請に真摯に応えるがためのさらなる活性化を目指す次第です。

昨年末に示された国の平成１９年度予算（案）においては、総額は２年ぶりに増加し、政策経費である一般歳出も増加、一方国税も増収が見込まれ、国債発行を抑えたとしています。

政府は、戦後最長の景気回復期間とされている「いざなぎ景気」を超えたとしているが、いまだ地方経済にはその恩恵が感じられません。

小さな自治体でも、地域に密着し、少子高齢化から、住民が安心、安全を享受できる福祉の充実、さらには、教育問題の対策の展開も求められています。

そのためにも町財政を安定させ、又、人づくりもエキスパート作りとして求められています。

私たち議員は、地区住民の代表として求められる責務と役割からの活動を通じ、首長と議会が議論により切磋琢磨し、よりよい政策を実現するため、又分権時代にふさわしい地方自治を構築するために、近隣自治体とも協調し積極的に取り組むことを決意しています。

本年も、住民の皆様からのご意見、ご指摘をいただく事をお願いし、新年のあいさつとします。

立つので、怒り毛と呼ばれます。雑食でキノコやタケノコなどの植物を食べますし、ヘビやカエル、ミミズなどの動物も食べます。

イノシシは夜間に食を求めて人里に現れ、栗や芋、稲などを食べてしまいます。栗はきばで穴を開けて食べます。また、〝ぬたを打つ〟といって、体に泥を塗る習慣があるので、たんぼを荒らすこともしばしばです。このため人間は害獣とし、畑やたんぼに垣などをめぐらし、イノシシの侵入を防ぎます。

人間は、昔からイノシシをさまざまに利用してきました。肉は獣肉を食べることを忌避していた時代から〝山くじら〟と呼んで食べてきました。毛はブラシに、歯は印材に、胃液はマムシにかまれたときに使ったといいます。皮は靴用に使われましたが、それは怒り毛で縫ったようです。

イノシシといえば、猪突猛進（ちょとつ）という言葉を連想します。でも、いまはゆとりの時代です。暮らしにメリハリをつけ、猪突猛進をしたら、ゆっくり休むようにしたいものですね。

町内23会場で町政報告会を開催

１０月２３日から１１月３０日の間、町内２３会場で午後７時から町政報告会が開催され、夜間にもかかわらず延べ７３９人の皆さんが出席しました。

今回の町政報告会では、特に、「勝山小学校建設」と「財政状況」を２本柱とし、白石町長から概要説明した後、教育長及び担当課長からスライドを用いて説明がありました。各会場では、熱心な意見交換が行われ、町の将来像を問う声など活発なご意見も多く出されました。主なものをいくつかご紹介いたします。

①　学校関係

質問：勝山小学校の総事業費は。

回答：鉄筋コンクリート２階建て１，７１０㎡、概算総事業費は５億３千万円を予定しています。

質問：勝山小学校を建設せず小中一貫教育を考えたらどうか。

回答：一日も早く、子供達が安心して勉強に励めるよう、町としても最優先課題として直ちに取り組むべきと考え、昨年９月議会で校舎棟の建設を、平成１９年度早々に着工し、平成２０年４月には、新しい校舎で授業が開始できることを決めさせていただきました。現在、県内には公立の小中一貫校はありませんが、将来的には、小中の接続という面から検討していく必要があると思われます。



概要説明をする白石町長

質問：厳しい財政状況で勝山小学校建設は大丈夫か。

回答：平成１２年９月、当時の勝山小学校ＰＴＡから３，０９４人の署名簿を添えた建設陳情書が提出されています。国庫補助金や建設基金（積立）の１億８千万円を有効活用し、不足分については、出来る限り有利な起債を仰ぎ、建設を進めていきたいと考えています。

②　財政関係

質問：財政が厳しいということだが、町民に対する痛みは。

回答：いままで、保育料や使用料の見直しを行ってきました。今後は、公共施設の有効活用を進めていき、住民の皆様のご不便にならぬよう効率的運営に努力してまいります。

質問：思い切った削減ということで、職員のリストラについてどう考えているか。

回答：現在職員と給料削減について協議しています。（※一般職員３％、管理職４％削減条例が１２月議会で可決されました。）また、勧奨退職制度を活用して、職員数の削減に努めています。

質問：赤字解消の対応策はあるか。

回答：未利用地の売却、海洋センター・歴史民俗資料館など施設の指定管理者制度導入等の取り組みを考えております。

③　その他



報告会の様子

質問：桜の植栽効果は。

回答：大きな金額で観光施設に投資するよりも、桜による観光振興ならばより小さな投資で観光資源になり、５年後、１０年後には必ず大きな効果をもたらすと考えています。現実に県道鴨川保田線の通行者からの保田川を見ての問い合わせや桜の拠点である佐久間ダムへの観光客の増員、植栽事業への県外からの視察も増えていることからも現在も着実に効果が出ていると考えています。

質問：次の合併はいつになるか。

回答：県合併構想がまもなく発表されますが、新合併法は平成１７年４月１日から平成２２年３月３１日までの時限法とされているため、平成２１年度が一つの区切りになると思います。

つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ(58)

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。
お尋ねする内容は、①仕事や趣味 ②最近心に感じた事やうれしかったこと ③町政に望むことなどです。次はあなたもネットワークの一員です。



高名　秀一さん（町区・会社員）

次回は内山　一治さん（仁浜区）へバトンタッチされます。

①大福商店、第三勝山冷凍工場に勤務しています。天候や漁の様子によって冷凍機械を調整するのが難しいですが、やりがいもあります。
②友人と那須サファリパークに行き、トラやライオンといった普段見ることの無い動物とふれあい、自然のすばらしさを満喫でき感動しました。紅葉の時期にまた行ってみたいと思っています。
③町民が子供からお年寄りまで、みんなが参加できるようなイベントがあればいいなと思います。たくさんの友人と知り合い、成長させてくれたこの町が活気を失うようなことのないよう、明るい町づくりを目指した努力を期待します。

①高校卒業後、ジャスコ館山店花王ソフィーナで化粧品販売の仕事をしています。最近ではフェイスエステのサービスを始め、お客様から「気持ちよかった」、「また来るわね」と喜んで頂きとても嬉しいです。お客様の中にはご年配の方も多く、おばあちゃん子の私にとってお客様とのコミュニケーションをとる事が楽しみの１つです。これからもいろいろな経験を積み、お客様に喜んで頂けるよう頑張りたいと思います。
②先日、駐車場内で困っている様子のお年寄りを見かけ声をかけました。いろいろお話を聞き、お家の方に連絡をとり迎えに来てもらいました。迎えに来られたご家族の安心した表情や、お年寄りのお家の人に会えて嬉しそうな顔を見た時、私もほっとし、温かい気持ちになりました。
③少子高齢化が進む今、子供からお年寄りまで安心して生活できるよう、福祉や医療の充実した町づくりを望みます。



小澤　美由紀さん（中道台区・会社員）

次回は増田　聖子さん（中道台区）へバトンタッチされます。

一人ひとりの努力

―町内一斉清掃にご協力ありがとうございました―

毎年12月の第1日曜日は、町をあげての一斉清掃の日。今年も12月3日に環境美化運動の一環として、町内一斉清掃が行われました。
当日は天気にも恵まれ町内各地区から多くの町民の皆さんが参加して、河川、海岸や自宅周辺の清掃を行いました。
集められたゴミは可燃物、ビン、缶など約6．6トンにもなりました。
参加者の一人は「今日のこの状態を保ちたいですね。一人ひとりが努力しないとね」と白い軍手で空き缶を拾っていました。



佐久間ダム周辺もきれいになりました

家庭教育通信 すくすく No.66

遊びが子どもを大きくする(2)

今月は、先月に引き続いて、「家庭教育手帳」の中に書かれている【遊び】について紹介します。

○年上・年下の友だちと遊ぶことは、とても大切です。

幼児の時期から自分と同じような年代の子どもと遊ぶ機会をもつことは、とても大切です。ものの取り合いのようなことは言葉の出ない時期でもよく見られますが、こうしたやりとりの中で、子どもは『他の人』を知り、『社会性』を学んでいきます。

そして、子どもを通して、仲間作りのきっかけを作ったり、子育てについて話し合ったりするなど、親同士のかかわり方も大切でしょう。

やがて、保育所・幼稚園といった集団に入るようになり、年少の子は『ルールを守ること』『我慢すること』の大切さなどを身につけ、年長の子は『思いやりの心』『集団をリードしたり、役割を果たしたりする責任』を養っていきます。

身近な地域のボランティア・スポーツ・文化活動・青少年団体の活動などは、それぞれ年の違う集団の中で、子どもたちが切磋琢磨する貴重な機会を提供しています。親は、その大切さを見直し、積極的に子どもたちを参加させましょう。

○家庭内の年中行事や催事を大切にしましょう。

正月・ひな祭り・端午の節句・誕生日・暮れの大掃除など、家庭内の行事では、家族とのふれあいが深まります。更に、高齢者など世代の異なる様々な人々とのふれあいやつながりもでき、地域社会へも目が向くきっかけになります。しかも、日本の文化・伝統に親しむとても良い機会でもあります。

○外遊びやスポーツをすることで子どもの体力が育ちます。

今、子どもたちの体力低下が懸念されています。走る、投げるなどの基礎的な力が弱まり、身体をうまく使えない子どもが年々増えてきているそうです。まっすぐに走れない子や、カーブがうまく曲がれない子が目立つようになりました。また、転んだときにとっさに手が出ず、顔から地面に落ちる子や、ボールを取りに行こうとして、目のまえの障害物に気がつかず、すぐにぶつかってケガをするなども増えているそうです。

子どもたちが、外遊びや運動・スポーツで身体を積極的に動かすことは、子どもの成長にとって大切です。様々な遊びや運動を通して、基礎的な体力や運動能力を身につけさせましょう。同時に体を動かす楽しさや喜びを体験させましょう。

また、日常生活の中で、面倒がらずに『自分にできる』『続けられる』と思えることを子どもにやらせてみましょう。例えば、毎日数分歩く、階段は歩いて上り下りをする、買い物は歩いていく、縄跳びを毎日行うなどどんなことでもよいのです。自分で決めたことは、毎日続けられるようにすることが大切です。

新しい年を迎え、寒さに負けずに、凧揚げやバトミントンなど、親子一緒に遊んでみてはいかがでしょうか。

教育委員会
電話　55－2120

土地改良区３０周年記念感謝祭開催

鋸南土地改良区設立３０周年記念「天地の恵」感謝祭が１２月１日（金）佐久間ダムで開催されました。３０年の土地改良区の足跡を振り返り明日からの新たな出発点とし、町の農業の活性化を祈念するために行われたものです。式典には安房農林振興センター寺川所長、白石町長他多くの関係者の方が出席しました。式典ではこれまでの運営に尽力されてきた池田悦郎氏（上佐久間）、三瓶五良氏（上佐久間）、故厚海熊太郎氏、故富永純氏に感謝状が贈呈されました。

土地改良区では、昭和５１年の設立以来、佐久間ダムの建設を始め用水路・農道の整備等町の農業の生産性の向上、振興発展に努めてきました。今後も土地改良諸施設の適正な維持管理・運用に努め、新たな役割としての町での営農への関与や農業振興へのより積極的な取り組みなどに努め、農業の生産性向上並びに発展振興に取り組んでいきます。



祝辞を述べる白石町長

お詫び

毎月掲載しています「健康通信」ですが、紙面の都合上今月号は休載させていただきます。

歴史資料館

●連載173

梁川 星巌

鋸山の星巌の詩碑

鋸山日本寺の仮法堂前に梁川星巌詩碑があります。幕末の勤皇詩人として有名な星巌が、鋸山に来遊し、その幽玄な雰囲気を詠んだ漢詩が刻んであり、天保十二年（一八四一）の建立です。

梁川星巌は、寛政元年（一七八九）美濃国曽根村（岐阜県大垣市）の豪農の長男として生まれました。生来の学問好きがこうじて弟に家督を譲り、単身江戸へ出ました。儒者であり漢詩人の山本北山の弟子となり、詩人として頭角を現しました。女弟子であった十五歳年下の紅蘭と結婚し、おしどり夫婦とはやされながら全国を吟遊して回ったのは有名です。

江戸に戻ると、神田お玉が池のほとりに玉池吟社を開き、江戸市中の若い詩人たちがこぞって参集しました。もともと政治に興味があったのか、後に京都へ移り、表面は隠居した詩人をよそおいながら、若き勤皇の志士たちと交わり、経済的援助を与えるようになりました。援助だけでなく、実際に彼らと朝廷との橋渡しのようなこともしました。吉田松陰、梅田雲浜、頼三樹三郎、橋本左内、西郷吉之助（隆盛）、佐久間象山らが星巌と交流がありました。

しかし、彼らは皆、安政五年（一八五八）大老井伊直弼の尊皇攘夷派の大弾圧、安政の大獄で捕縛されました。星巌のもとに集まった若き革命家たちは、そのほとんどが志半ばで刑死または獄死してしまいます。

もちろん星巌も第一級注意人物として捕縛対象になりました。ところが幸か不幸か星巌は、大獄の直前に当時流行したコレラにより、七十歳で亡くなっていました。大量捕縛開始の三日前と言われます。そのため世間では、星巌のことを「死に（詩に）上手」と評したと言います。

夫を支えた賢妻、紅蘭

しかし代わりに妻の紅蘭が捕らえられました。星巌と同郷の紅蘭は、気丈な女性で、進んで入塾、優秀な弟子として十七才の時、師である三十二才の星巌と自ら望んで結婚します。新婚早々、行き先も告げず旅に出て二年も帰らなかった夫の放浪癖を身をもって知った紅蘭は、以後の旅は同行することを決意、全国をひたすら歩き回る波乱に富んだ夫星巌と行動を共にする中で、夫から強い影響を受け、詩人として育っていきます。

安政の大獄で捕らえられた紅蘭は、厳しい尋問にあいながらも、「あなた方は仕事や国家の大事を妻に話しますか。夫は死に際にも女の私を寄せ付けなかったほどです。それほどの大事をどうして女の私に話したりするものですか」と気丈に答え、ついに白状させることが出来ず、半年後、釈放されました。

出獄後、紅蘭は、私塾を開いたり、夫の遺稿を編集したりして、明治十二年、七十六歳で亡くなりました。

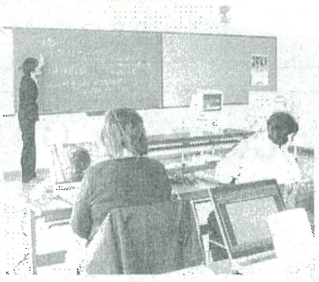
おしどり夫婦の星巌と紅蘭は、天保十二年、房総を旅しています。平久里には星巌橋、紅蘭橋と名づけられた橋が残っています。



「梁川星巌詩碑」

生涯学習 みんなで学ぼう

「パソコンでつくる年賀状教室」



まずは文章から

１１月２４日から、パソコンでつくる年賀状教室を開催しました。講師は三橋美子先生です。

今回のパソコン教室では、はがきソフトを使わなくてもワードで年賀状をつくる事を学びました。



イラストもインターネットからダウンロードして簡単に入れられます。

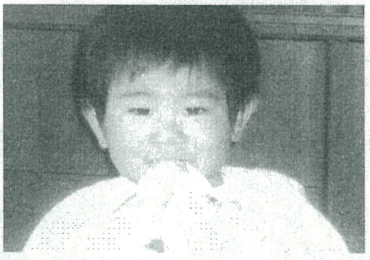
「パソコンは初めてだし、インターネットも初めて」という方も、先生の指導で年賀状ができあがりました。

問合せ先　中央公民館

☎５５－４１５１

分からないところは個別に

わんぱく登場



隼人君　１歳１１か月

〔齋藤幸平さん　第１子　奥山〕

皆さんあけましておめでとうございます。僕は今月２歳になるんだよ。だから去年はまだうまく言えなかった新年のご挨拶もばっちりＯＫ。で、お年玉もがっちりＯＫ?!歩くのも走るのもじょうずになったので動き回るのが楽しくてしかたないの。けがをしないように気をつけて今年もワンパクでがんばるぞ。

桜だより

～JR・鉄道沿線からの森づくり～

ＪＲ東日本では、エコロジー推進活動の一環として、平成４年から「鉄道沿線からの森づくり」事業を展開しています。

今年度で15回目を数えるこの事業、鋸南町の「まちぐるみ桜の木２万本プロジェクト」に賛同いただき、昨年度に引き続き２回目の実施となりました。

今回は桜を中心とした様々な花木で彩られている佐久間ダム周辺に、イロハモミジ54本、ニシキギ１５０本、ヤマボウシ８本、河津桜８本の計２２０本の植栽がおこなわれました。前回はあいにくの降雪により、ボランティアによる植栽は実施されませんでしたが、今回は好天に恵まれ、２４０人ものＪＲ職員と関係者が集合し、咲き始めの水仙と紅葉が美しいコントラストをおりなす中、植栽がおこなわれました。

桜の名所としてその名が知られてきている佐久間ダム親水公園に、紅葉のスポットとしての新たな種が蒔かれました。



植栽の様子（旧ホタルの里）



２４０人ものボランティアが集合

B&G NEWS

◆温水プール開館時間
　１０：００～２１：００
※１２時～１３時・１７時～１８時は休憩
◆休館日　月曜日
◆プール利用料金
　（町民）小中学生　２００円
　　一般　　４００円
　※　幼児は無料

≪プールがリニューアルオープン≫

年末にプール清掃を兼ねて塗装もしたため、一般用プール・幼児用プール共きれいにリニューアルされました。

当センターは温水プールですので、冬でも泳ぐことができます。今月中旬からは、水泳教室も始まります。

水泳教室は新規の方も大歓迎ですので、正月休みでなまった体を鍛えなおしてみませんか。

≪教室等の問合せ≫
Ｂ＆Ｇ海洋センター　☎55－4411

あの子もこの子もきょなんの子

（１１月２５日から１２月１５日迄の届出分）
おめでとう！

名前	生年月日	両親の名前	地区	わが子へのメッセージ
☆横尾　碧斗（あおと）くん	平成１８年１１月１０日	進也・弓美子さん（第２子）	中道台	たくましい子に育ってほしいです。
☆富岡　大和（やまと）くん	平成１８年１１月２１日	克己・昌　美さん（第２子）	仁浜	大和魂で強く、たくましく育て！！
☆川名　悠斗（ゆうと）くん	平成１８年１２月　２日	道久・智　子さん（第１子）	市井原	明るく、元気に育って下さい。

写真さしあげます。

広報に掲載した写真をさしあげます。

一部希望に添えない場合もあります

◇総務企画課 広報担当
☎５５－４８０１

人の動き・・・・・

世帯数	３，７６３世帯	（＋６）
人口	９，８７１人	（＋２）
うち男	４，７４５人	（＋４）
女	５，１２６人	（－２）

１２月１日現在（前月比）

編集後記

新年明けましておめでとうございます。10月から町報の担当となり、今号で3号目となりました。まだ慣れない事ばかりですが少しでも見やすい町報を作成していきたいと考えています。今年も町報・おしらせ版共によろしくお願いします。（T）